

発行所 田代町公民館
電話 19 番
発行責任者 小川 兵一
編集責任者 久保 幸雄
鹿屋市共栄町
新生社印刷所 電 2238

第六回

せよとすることゝするもので、
案通り可決されました。
二、第二回追加更正予算
この条例も中央地区簡易
収条例について

勝は、鶴園婦人会に決つ

小学校へ 壹万円
中学校へ 壹万円
町公民館へ 貳万円

「」を掲げ、子供達の目標と
習業を告げることに、来日記

しまれることでしよう。
やさしい文章で、しかも
面白い読み物ですからど
とどご利用くださいまし
うにご紹介いたします。

すると、成豚を燕麦等蛋白に

最近、農業は成長産業の一番手であるといわれるようになって来た。

将来の食生活の面で、果実や、肉類や、乳製品の需要が増加して来るという見方からである。

今までの米づくりは副業的なものになり、果樹経営や、主畜経営という方向に、農業経営が変つて行かなければならないと識者は異口同音に言っている。

このことについては誰も反対でなく、その様にもつて行くために努力しつつある。しかし、果樹や畜産にしても、一挙に収益があがるものでもない、金と時間と努力が必要である。早い話が、わが町の産業振興五ヶ年計画の畜産部門を達成するために必要な資金は、今後、ザツと計算して見ても、一億五千万円以上が必要である。われわれが約十五年かゝつて蓄めた農協への貯金は六千万円金である、この数字から行くと、後二十年かゝらないと蓄められない勘定になる。金と時間の余裕が出て来たとしても、人の不足をどう解決して行くか？、この問題が一番、重要であ

現在、本町の青年団員の数は男女併せて、八十六名だという。又、毎年高校を卒業して行くもので、農村にとどまるものは本県で、

昭和三〇年度で三六%で三
五年度は九、七%だったと
いう。

には、先づこれ等の青年をどう育て、行くかが、最初の問題である。

るべきである。又青年も連年団の組織を守ることのみに頭を痛める必要はないのではないか、近代化の新しい手となるこれら若い世代の奮起と、援助を望む事切

なり。

先づ共済加入と自給飼料から

万一のことを考え
先づ共済加入と自給飼料から

共済社

豚を引合うようにする事が出来た時、始めて安定した養豚になり本町農業の方向が定まるのではないでしようか。さて引合う養豚は如何にすべきか皆様と共に研究して見たいと思います。

では國民一人当年一、六頭と云われます。本町は農村地帯でありながら年一人

。一、反歩から一〇頭の肉豚を飼育する位の飼料を作り出すことです。一頭の仔豚代金を四、〇〇〇円、購入飼料が一頭当り二、〇〇〇円、自給粗飼料を四、〇〇〇円飼育労賃が二、〇〇〇円、其の他の費用を一、〇〇〇円位とすると、成豚を一反歩から一〇頭の肉豚に農家にならなければいけないと思います。

馬鈴薯の後にカボチャや甘藷等の値付け、特に夏期飼料の準備が大事だと思います。早期水稻の後作に秋馬鈴薯、カンラン、ロモンベツチ、ルタバカ、レンゲ草として收穫直前の刈り試め

料畑は反収六万円の収入となるのです。豚を飼えばより支払いたものであります。

うける式でなく、反当何頭飼えるかの研究を推進しなければならぬと思います。

グループで特定の畑を一人五畝歩位宛定年間何作

死亡四〇頭共済金一九、〇〇〇円

治療費一〇三、六七〇

の課題である。自営者クラブ等への物入り
両面の援助も必要であり、これらにもつと筋金を入れ
るべきである。又青年も専年団の組織を守ることの
に頭を痛める必要はないの
ではないか、近代化にな
い手となるこれら若い世
の奮起と、援助を望む事
なり。

無機物の大切な事を知っていますか

量含まれていなければならぬといふわけである。然しな
く「そううまくいひな
いようです。例へば当地方
で最も愛用されている米ぬ
かの石灰と燐酸の比率はな
んと一：四六である。又生
産牛、肥育牛ともに多量に
使われている麦類にしても
其の比は一：一六である。
今田代町内に於ては約六五
〇〇石の米が精白されると
推定すればそれから出る米
ぬかは五六・一六〇^{kg}の多量
に達する。これはすべて町
に不足は先づ克服しなけ
るべきであらう。又、牛の
繁殖率の低下、仔牛の発
育不良、病気に對する抵抗
力の減退となつて現れる。
又米ぬかの多給による燐酸
の増加、苦土の増加、冬
の増加、青刈飼料のササ
葉の多給による硅酸の過
剰等は、体液の酸性化を
來たし、流産、受胎不良
となり、連産を不可能に
する。生産地帯を本命と
する。本町に於てはこれ
のカルシウム不足は先づ
克服しな

り便校字

県下にただ一ヶ所
〃〃〃〃〃〃〃〃
高校開放講座
開講式盛大に行わる

県社会教育課長を迎えて

田代高校における文部省
指定の開放講座に關してそ
の主旨や方法について先月
号でお知らせ致しておきま
した。したがその開講式が去
る九月十二日開催されましたの
でその模様をお知らせ致し
ます。

田代高校

県社会教育課長を迎えて

當日は事の重要性を認識され多数の來賓が列席され午前九時に小川公民館長の開会のことばに始まり小牧教育長神田高等學校長の近代農業の進め方にたずさわる農民の心がまえについて

児島県である心ある他県の人々から賞賛された時期があつたと語られこの様な歴史をもつ我々はこの時に

重なる農業所得の向上に努力すべきであると力説されこの開放講座が優秀の美をお

お互いに

田代巡査駐在所
狭くて悪道路というのが日本の道路の代名詞なかも、鹿児島県の道路は日本一悪いといわれています。この狭い道路にかつてに物を置いたり道路で作業をしたり車庫がわりに車をとめたりしたらどうなるのでしょうか。交通事故が起るのもあたりまえですね。

道はできるだけ広くみんなが安心して通れるよう



10 月 時 報

○ 子 豚 セ リ 市										上段めす		下段おす	
区分 月日	出場 頭数	売				却		登録豚平均	総 平 均 (含本人売却)	売却率			
		頭 数	価 格	最 高	最 底	平 均	売却平均	普通豚平均					
8 25	18 9 ²⁷	16 9 (25)	99,600	5,500	3,200	3,906	3,422	3.984	登録 3.984	3.818	91%		
9 5	29 25 ⁵⁴	25 20 (45)	171,100	9,000	1,300	3,824	3,775	3.802	登録 3,000 普 3,356	3.559	83%		

昭示

初の農協主催にて

久保藤雄	早瀬正己	中岳喜之盛	舞原弥市
松下直助	袖山 穂	近川盛宗	坂元長右衛門
三等舞原一己	舞原鉄二	牧原善太郎	早瀬栄次
尾之後幸一郎		秋山正行	上原正春
湯ノ谷貞吉	窪 敬吉	肥育牛 雌	
近川熊次郎	徳水勝美	一等猪ヶ倉豊	
永野重範	舞原勇助	二等川路 甫	
新村 進			

一等原	重子	一等中原森造
二等山上三郎	梅元 虎	二等川路休一
三等小牧房江	大垣厚志	三等宮原榮熊
豚	ハケ月以上	団体賞
一等中村一夫	小牧フサエ	一等川原地区畜産振興会
二等西 秀徳	早瀬和雄	二等麓地区畜産振興会
中國利美	田代高校	三等東部地区畜産振興会
秋山正行		

ねずみ駆除運動

十月二十日から

十一月十九日まで

○みんなの力で

ねずみを退治しましょう

○ねずみくじの発行

運動期間
中は、テ
ニスと交
換します

レビや洗いで持参ください。

が当る、準備されております。

じが発行

より寄付

亡主人の香典返しとして

したので、くに紹介し、厚くお礼申し上げます。

一金五千円也

なるものがあり、町民の等しく哀悼と惜別の念に耐えないところであります。

一金壹万円也